

1 日々、児童生徒の「自立と社会参加」につながる教育活動を実践する。

現在及び将来の「自立と社会参加」につながるように、日々さまざまな教育活動に取り組んでおります。積極的に地域に出て行き、ほんものの体験活動を通して社会経験を積んだり、貢献活動を通して地域の一員としての自覚を深めたりするようにしています。

とてもよい 41人 よい 27人 あまりよくない 0人 よくない 0人 わからない 2人

- ・駅のトイレ掃除はどうか・・・と思う部分もある。掃除ならトイレでなくても・・・。
- ・自信につながり、自分から進んで団地の玄関などを積極的にやるようになった。同じ棟内のおじさん達にほめられ喜んでいる。
- ・地域の方々に養護学校の存在をアピール出来るのでよいと思う。
- ・作業学習の販売、雪かき、交流学习などやっていただき、子どものためになっていると思う。
- ・積極性や社会性が身に付く体験ができており、とてもよい。
- ・親としては卒業後が不安でいっぱい。様々な体験をさせていただき、少しでも自信となりスムーズにつながると思うので、とても有り難い。
- ・地域で受け入れてくれる場があることは有り難いが、障がい児に対する理解がある場であればよい。
- ・よいことであるが、個別対応が不十分。

【学校から】

- ・高等部では、総合サービス班や校内実習で、トイレ清掃の専門用具を揃えて「清掃業務」の習熟を目指して取り組んでいます。学校以外のトイレ清掃は、実技の場面として、日頃の成果を試す場面として貴重な機会ととらえています。関係の方から感謝されることで生徒たちの自信につながり、地域貢献活動としてほしいへん有意義だと考えております。
- ・学校で経験したことが家庭生活や地域生活に生かされていることを実感し、ますますアクティブに活動したいと思っています。これまで以上に自立と社会参加を意識し、〇〇さんにとっての社会参加とは？という視点で、学習活動を計画していきます。自分のよさを生かして、地域の一員として活躍できるようにしたいと考えております。

2 地域の資源を活用した魅力ある教育活動を推進する。

ミュージカルはもとより、作業学習や製品開発、販売活動、介護職員初任者研修、英語活動、寄宿舎余暇などに地域の先生に来ていただいて、よりよい学習活動に向けてのアドバイスをいただいています。また、「木曜カフェ」や「能養ショップ」など地域の中で地域の皆様と直接触れ合う機会を設定し、社会性やコミュニケーション能力の向上を目指しています。

とてもよい 51人 よい 19人 あまりよくない 0人 よくない 0人 わからない 0人

- ・先日、りんごジュースと梨缶を買った。市役所などの一角にアンテナショップ的なスペースがあるといいと思う。
- ・寄宿舎の余暇活動に通学生も加わることが出来れば・・・と思う。
- ・ミュージカルに初めて出させてもらい、与えられた役を責任をもってやれるようになった。
- ・仕事の都合で「木曜カフェ」「能養ショップ」に行けず残念に思っている。いつか行きたい。
- ・一人では難しいことも仲間や先輩たちと行うことで出来ることも増えていくので、社会へ出る前に経験学習できてとてもよい。
- ・これらの活動でできることが増え、自信につながっていると思う。ただ、我が子に関しては・・・？本人のよさ、得意とするものを見つけ出して伸ばしていただければと思う。障がい特性に合った指導を望む。
- ・地域の方々とふれあい、理解を深めてもらいたい。辛い体験もあると思うが、いろいろなことを学び、たくましく育てほしい。
- ・とてもよいと思うが、弱い子や障がいの重い子などにも十分そのねらいが達成できるようにすることを目指してほしい。

【学校から】

- ・今年度から「出張木曜カフェ」で市役所にも出店させていただいております。「木曜カフェ」と合わせて一年間で442名の来客がありました。これからも保護者の皆様、地域の皆様に愛される「木曜カフェ」を目指して運営してまいります。
- ・アンテナショップにつきましては、現在、今出川珈琲館に常設させていただいております。これから増やしていきたいと考えていましたので、市役所等のアイデアをいただきありがとうございます。
- ・寄宿舎の余暇活動の中でも、地域の先生をお招きするフォークダンスやお茶会などについて、通学生にも参加を呼び掛けていきたいと考えております。

3 地域と共に活動し、地域に貢献する教育活動を展開する。

天空の不夜城、のしろまち灯りへの協力、松山茶の製品開発企画、リゾートしらかみお手ふり隊、能代観光PR、花いっぱい運動、クリーンアップ、雪ん子レンジャーなどの積極的展開やしののめ夏祭りの地域との共同開催など、地域のためにできることを地域の皆さんと一緒に実行しています。

とてもよい 44人 よい 25人 あまりよくない 0人 よくない 0人 わからない 1人

- ・地域の皆さんに障がいを理解してもらい、活動することにより個人の自信につながると思う。
- ・行事ごとに参加の可否を確認してほしい。
- ・いろいろな物事に組み込み参加することによって、子どもたち自身が自分でも気付かなかった「得意なこと」や「好きなこと」を見付けることができる（可能性が出てくる）。家庭では経験できないようなことをいっぱい体験させていただき感謝している。家庭でのサポートが必要なものについては知らせてほしい。
- ・仲間や先輩たちが一緒だからできることも多いと思うので、社会へ出る前にいろいろ経験できてよい。
- ・様々な方々との関わりや何かを成し遂げる達成感で自身になったことが多く、生き生きととてもいい表情だった。
- ・とてもよいことだが、多忙過ぎたり、一部の人の活動になったり、負担になりすぎないようにしてほしい。

【学校から】

- ・学校経営の重点を受けて、学部・学年として、どんな地域貢献活動に、どの時期に、どのように参加していくかを検討しております。地域の方々からは「よい活動をしてくれ、ありがたい」という声をいただいておりますので、子どもたちの社会参加の意識向上につながるよう、これからも地域に出ていく活動を大切にしていきたいと考えております。活動の前に保護者の皆様にお知らせをいたしますので、よろしくお願いいたします。

4 小・中・高等部一貫性のある教育内容や教育方法を設定する。

一人一人の地域生活や卒業後の社会生活につながる教育実践に力を入れ、各段階で身に付けたい内容を明確にして日々の指導に当たっています。保護者面談では「個別の指導計画」をもとに、学校で力を入れて取り組むこととお話しし、家庭への御協力をお願いしています。

とてもよい 39人 よい 30人 あまりよくない 1人 よくない 0人 わからない 0人

- ・WISC検査の結果はどのような結果であり、それに基づきこのように指導している等、客観的データも示してほしい。小学校のようにテストがないので、親としては変化がよく分からない。
- ・先生方とお話することにより、自宅等では見られない行動のお話を聞くことができる。
- ・毎年指導計画を作るが、3年に1回とかでもいいと思う。先生の方から指導計画の提案があってもよい。
- ・個々の能力やレベルで計画を立てて取り組んでいただき、ありがたい。
- ・個別の指導計画の話し合いはよいが、身に付けたい内容を明確にして「指導」に関しては、本人の実態や障害の特徴から指導に当たっていただきたい。
- ・いつも手厚い支援をしていただき感謝している。先生方にお任せすることが多く、申し訳なさを感じている。親としても頑張りたい。
- ・個別対応を保護者と学校が連携を取りながら進めることが大事。関わる時間をなるべく作っていくようにすることで見えてくることも多いので、とても大切にしている。

【学校から】

- ・WISC等の発達検査は、検査結果から得られた特徴をみて、指導や支援の方法を探るために実施しております。どのような手立てをとればできることが増えたり、確実にできるようになったりするかのヒントを得て、有効な手立てを保護者の皆様と共有するように心がけております。日々の連絡帳や面談を通して、お子様の成長を確認し合っていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
- ・個別の指導計画は、お子さんの1年後の目指す姿を想定して、今、指導すべきことは何かを考えて計画を立てています。できることを増やしたり、いろいろな場面でできるようにするために保護者の皆様のお力をお借りして頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

5 地域における特別支援教育を推進する。

本校児童生徒が将来にわたって地域でよりよく生活していけるよう、早くからの交流及び共同学習に取り組んでいます。小学部は、居住地にある学校の同学年児童との交流や地域の学校との交流の回数が昨年の3倍に増えました。また、お互いが交流を心待ちにするような実り多い活動になっていることが成果として挙げられます。中学部は、東雲中学校との交流を開始し、学校行事に招かれたり、応援団が壮行会に来てくれたりするなど友好関係が深まりつつあります。

とてもよい 36人 よい 30人 あまりよくない 0人 よくない 0人 わからない 4人

- ・同学年の姉がいるため、交流した場合、姉の方の心の動揺がとても不安である。
- ・だいたいはいと思うが、中には“シンショウ”等とひどいことを言う他校の生徒もいると聞く。養護学校がどんな学校なのか、もっともっと知って理解してもらうよう養護学校からの働き掛けが必要だと思う。
- ・同学年児童との交流はとてもよいと思う。
- ・そういう交流が元で、町で会って声をかけてもらったりして喜んでいる。
- ・健全な子どもたちが障がいのある子どもたちに接する機会が多くなり、よいことだと思う。
- ・交流したお友達で、外出した際に声を掛けてくれたことがあり、本人もうれしそうにしていた。今後も継続してほしい。
- ・向能代小の児童さんには良くしていただいてありがたい。市立図書館で会ったときも声をかけてくれた。
- ・他の養護学校のように、部活動で同じ地域の高校との交流があってほしい。例えば、バスケ部能代工業との交流、もしくは練習を見に行くとか。
- ・そのとき（行事）だけのつながりなので、その後もつながる方法を考えていければと思う。
- ・良い面もあるが、悪い面もある。交流先の学校は、子どもたちへの事前学習を全校生徒に行ってほしい。
- ・正直言って、地域の子どもの理解はまだまだ浅いと思う。交流の回数が増えたことはとてもうれしい。保護者の方々の理解も深まることを願っている。

【学校から】

- ・同世代交流について、よいという意見が多かったのですが、中には兄弟等の反応が不安・・・との意見もありました。今後、十分に相談を重ねて、無理のない実施の中身を検討したいと思います。
- ・直接交流ができるだけ実り多いものになるように、特別支援学校や障がいのことについて、事前に出前授業をしたり、実施後にアンケートをとったりして理解を深めるように努めております。まだまだ回数も内容も十分とは言えませんので、相手校と連携してよりよい交流及び共同学習を追求していきたいと思っております。
- ・20周年記念式典のオープニングでは、休日にもかかわらず、向能代小学校と東雲中学校の児童生徒の皆さんが友情出演してくれ、よさこいソーランのステージを盛り上げてくれました。これまでの学校間交流の積み重ねがこのような形となって表れたのではないかと感謝しております。

6 児童生徒の思い出に残る20周年記念事業を実施する。

ご来賓の皆様への記念品の製作、全校児童生徒による記念エコキャップアート制作、式典当日の向能代小学校や東雲中学校との合同よさこいソーラン、式典司会進行、案内、ミュージカル上演など、児童生徒が主役となる記念事業の遂行に努めました。お越しいただいた皆様から、児童生徒の活躍に対してたくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。

とてもよい 43人 よい 26人 あまりよくない 0人 よくない 0人 わからない 1人

- ・とても感動した。
- ・よさこいソーラン、もう一度見たい。
- ・能養祭、よさこいソーラン、ミュージカル、毎年楽しみに見させてもらっている。先生方、たいへんだと思うが、よろしく。
- ・子どもたちにある程度責任をもたせ、式典等の司会をやらせたことは大大大正解だと思う。自信をもった子どもたちの笑顔は最高だった。
- ・上手に話すことは難しいと思うが、大きな声で元気よく話すといったことは可能だと思うので指導してほしい。（マイクを使用しているのに聞こえづらい・声が小さい）
- ・式典に参加させていただき、どれもすばらしかった。親子共々、よい思い出になった。
- ・式典で20年のあゆみを流すことになっていたのに、変更したのは何か理由があったのか？養護学校とは思えない立派さ、優秀さだった。

【学校から】

- ・保護者の皆様にご案内を配付したときには、20年のあゆみを映像で流す予定でしたが、関係者と内容検討していく中で、能代養護学校の特色であるミュージカルのメイキング映像がよいのではないかとということになり、変更させていただきました。連絡ができず申し訳ありませんでした。20年のあゆみは、ホワイエでの写真パネル展示や20周年記念誌で紹介をさせていただきました。
- ・当日ご出席いただいた能代市の市長様、教育長様、各学校の校長先生方、福祉施設長様、地域の皆様からたくさんのお褒めの言葉を頂戴し、児童生徒・職員一同、満足感と達成感でいっぱいになりました。保護者の皆様には、日頃からのご協力に心から感謝します。

7 お子さんのことで気になることや学校、学部、寄宿舎が取り組んでほしいことなど、御記入願います。

- ・この1年で我が子なりのペースでしっかり一つずつではあるが、成長している姿を見ることができた。学校全体の取り組み方、一人一人に合った教育・・・どの点をとってみても私はこの能代養護学校に入学して心からよかったと感謝でいっぱいである。
- ・部活動の充実を願う。小学部高学年から運動部に入れるようにしてほしい。
- ・特にない。現状で十分だと思う。
- ・私の子どもは特に大人しく、家にいるときはお話しをすることがない。こちらから話すと、首を縦とか横に振るだけなので、学校で話せる場面をつくって指導してほしい。
- ・フッ素うがいをしてほしい。
- ・運転免許取得可能なくらいの学力を身に付けてほしい。
- ・いつも細やかな心づかいに感謝する。
- ・学校にいる間は安心だが、卒業後が心配である。
- ・地域の方々との交流をはじめ、地域に貢献する活動が増えていていいことだと思う。今後も積極的に展開して行ってほしい。
- ・将来、一人で生活していけるかが一番心配である。両親がいなくなったときのことを思うと、地域の方々との交流に力を入れているのでありがたい。これからも力を入れてほしい。
- ・PTA授業参観や役員会、みんな仕事をしているので参加が難しいのは分かるが、仕事を休んで参加している人もいるので、せめて年度初めと終わりくらいは人数そろってほしい。(毎回顔ぶれが同じ)
- ・「学校が嫌い」で毎日家から送り出すのに苦勞している。残り1年、少しでも楽しい学校生活を送れるよう指導・支援をお願いする。また、バスの中で「音」が苦手な子への配慮と親の負担を考慮してほしい。
- ・卒業後がたいへん気がかりである。活動する機会や社会参加する機会が減ってしまうように感じる。
- ・12年間、お世話になった学校を卒業する。次は通所施設で頑張ってもらいたい。
- ・うまくやれない点・弱い部分をもっと学校で出せる環境にしてほしい。束縛しすぎず、その子の状況やそのときの状況でもっと個別に臨機応変に対応できる、ある程度ゆるい、あたたかい、のほほんとした学校にしてほしい。

※ 御協力ありがとうございました。要望等に関しましては、今後関係者で話し合いを行い、お応えできるように検討してまいります。これからも、学校へのご意見・ご要望を気軽に出していただきますようお願いいたします。